

星 稜 サ ・ エ ・ ラ

seiryō çà et là 2011 No.20

inaokigakuen news letter



次は、社会で輝こう！
星稜女子短期大学
卒業式&謝恩会開催！

特集

保護者とともに取り組む、 星稜の教育

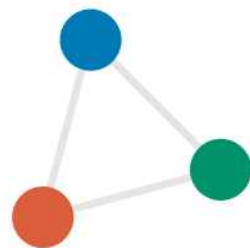
星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

金沢星稜大学総合研究所だより

星稜Information



特集

保護者とともに取り組む、星稜の教育

教育とは、学校と学生・生徒の間だけで行われるものではありません。大切なのは、そこに保護者の皆様を加えた『三位一体の教育』です。今回は、学園各校での「保護者の皆様の教育参加」の取り組みをお伝えします。



金沢星稜大学
就職「超」氷河期を乗り切るために
保護者のための
就職ガイダンスを実施



金沢星稜大学が保護者にも 就職活動を指南する理由

大学教育において、もともと保護者の存在が重要になる場面のひとつが就職活動です。未曾有の就職氷河期と言われるなか、厳しい就職活動を強いられる学生が内定を獲得するためには、学生本人はもちろん、保護者の皆様の理解と支援が不可欠となっています。そこで、金沢星稜大学では毎年「保護者のための就職ガイダンス」を実施し、就職活動に取り組むお子様を持つ保護者の方々に、現代の就職活動と保護者だからこそできる支援のあり方をお伝えしています。

保護者のための就職ガイダンスの趣旨について、就職課の堀口英則課長はこう語ります。

「近年の就職戦線の厳しさは想像を絶するものがあります。そのような状況下で今も多くの方が内定獲得のために活動を続けていますが、現代の就職活動は本人の努力だけではどうにもならないことがあるのも事実です。そこで保護者の皆様の支援が必要となるのですが、保護者の方々が今の就職活動について十分に理解をしないければ、支援するつもりがお子様の足を引っ



金沢星稜大学 就職課長 堀口英則

張ることにもなりかねません。保護者の支援の影響力が大きいからこそ、「就職は親で決まる」と言っても過言ではないこの時代に学生たちを正しく支えられる保護者であっていただきたい。そのために、このガイダンスを実施しています。」

今年も多くの保護者が 参加した就職ガイダンス

今年2月11日(金・祝)に行われた「保護者のための就職ガイダンス」にも、多くの保護者の方々にご参加いただきました。ガイダンスでは「就活を取り巻く現状」や「保護者の世代と現代の就活の違い」、「保護者ができること、してはならないこと」、「企業採用担当者からの本音」などがセミナー形式で伝えられ、また就職活動を勝ち抜き内定を獲得した4年次生が就職活動体験談や保護者に期待することなどを語りました。さらに、保護者の方々にも実際の就職活動を体験していただくこと、同日に大学で実施されていた学生向け学内企業説明会に保護者の方にも参加していただきました。

「まずご理解いただきたいのは、保護者の方々が就職活動をされた頃と今の学生が直面している就職活動とは、まったく違うものだということなんです。インターネットを利用した活動は当たり前で、企業説明会の予約がほんの数分で埋まってしまうことも日常茶飯事です。それを理解せず、ご自身が活動されていた頃の価値観でお子様と接してしまう方がいらつしやいます。また、『数年ならフリーターもしょうがない』や『受けるだけでも公務員試験を』など、決してお子様のためにならないアドバイスをしてしまう保護者の方も少なくありません。これらの問題は、学生の置かれた状況を保護者の方々がきちんと理解することで解決できます。つらい就職活動を強いられる学生にとって、保護者は力強い味方であり、支えになる存在。だからこそ金沢星稜大学は、保護者の方々に向けたこのガイダンスを実施しているんです」(堀口課長)

学生も保護者も支援する 金沢星稜大学の「就職」

ガイダンスに参加された保護者の方に感想をうかがいました。

「就職活動をするのはあくまで本人ですが、その上で親にもできることがあればと思い参加しました。親の立場でしてあげられることがたくさんあることを学びました」

「兄弟が通っている別の大学にはこのような機会はないので、ここで教えてもらったことをしっかりと伝えるようにしています。星稜大の就職支援は他の大学よりも充実していると感じます」

「こんな時代ですから就職活動は心配ですが、子どもが真剣に取り組んでいるからそれをサポートしてあげたい。今回はその方法を具体的に教えてもらえたのでよかったです」

参加された保護者の方々が口を揃えて語るのは、「参加して初めて知ったことが多い」という感想でした。就職活動の現状と対策を知る良い機会としていただいたようです。

近年の就職難の中でも高い就職率を達成してきた金沢星稜大学。しかし、今年は百年に一度と言われる就職「超」氷河期です。これまで以上に大学・保護者がそれぞれの立場から学生を支援することが求められるなか、金沢星稜大学は就職活動に取り組む学生だけではなく、彼らを支える保護者の皆様へのサポートも続けていきます。

保護者のための就「勝」教本 「親子シューカツ」を 差し上げています。

百年に一度と言われる就職難の時代に、保護者が知っているべき現代の就職活動やサポートの方法などをまとめた冊子「親子シューカツ」を保護者の方々に配布しています。ご希望の方は金沢星稜大学就職課までお問い合わせください。

親子 シューカツ



お問い合わせ

金沢星稜大学 就職課 TEL:076-253-3918
E-mail: syusyoku@seiryo-u.ac.jp

星稜女子短期大学も、 保護者のための就職支援活動を行っています。

星稜女子短期大学 事務局長 西田徹

昨今の就職状況は、短大生にも深刻な影響をもたらしています。就職活動においては保護者の皆様の理解と支援が必要なのは短大生も同じであり、星稜女子短期大学でも保護者向けガイダンスの実施や保護者の方々へのアドバイスをしています。

星稜女子短期大学はこれまで卒業生の活躍やその実績、いわば「ブランド力」を築いていますが、いつまでもその「ブランド力」に頼ってはいけな

いと考えています。特に、最近では100年に一度の不況といわれている時代ですので学生と保護者の皆様と星稜女子短期大学が三位一体となつて就職支援をしていかなければならないと思います。

学生・学校・保護者が三位一体となることが 求められる時代です。

星稜女子短期大学

保護者会「稲星会」 会長 下池新悟

今は保護者も就職への意識を高く持つことが求められる時代ではないでしょうか。星稜女子短期大学はこれまでに卒業生たちの活躍によって高い就職率を誇ってきましたが、この社会状況では、これまで以上に学生本人の努力、

保護者もまた、積極的にそこに関わっていくことで、わが子の明るい将来につながっていくのではないのでしょうか。

学校の教育と就職支援体制、そして保護者の意識と行動が重要となり、学校や学生本人に任せっきりでない三位一体の就職活動が求められるでしょう。星稜女子短期大学も学生たちも、一生懸命に就職活動に取り組んでいます。



星稜中学校・星稜高等学校

保護者アンケートの結果から見える、 星稜教育の「今」と「これから」

いちばん重要なのは、生徒にも保護者の方にも「星稜でよかった」と思ってもらうことです。

星稜中学校・星稜高等学校 干場久男 校長



星稜中学校・星稜高等学校では、毎年1回保護者の方々に向けてアンケートを実施しています。これは、学校教育のさまざまな面において、保護者の方が現在の指導に満足されているか、学校が期待にこたえているかを正しく把握することを目的としており、私たちがよりよい教育を実現するための重要な指針となるものです。

昨年12月に実施された最新のアンケート結果が集計されました。これを見ると、保護者の方々が星稜に何を強く期待されているのかが見えてきます。まず中学・高校の双方に共通しているのは「学習指導・学力向上」への期待の高さです。「学校に求めるものは何か」という回答選択式の問いには、中学校全体で38%、高校はコースによっての違いはありますが、全体で33%の保護者の方が「学習指導・学力向上」と回答されています。星稜に入ったからには学力を伸ばしてほしいと期待されている事実は、我々の認識ともまったく一致していましたが、あらためて教育者としての責任を自覚する結果となりました。

「学力向上」に次いで高いのは、中学校では部活動を含む「課外活動」です。「本校を志願した理由」を問う設問に「生活指導の充実」を選ばれた保護者の方が多く、これも考えると、中学生という人格形成期における「心の教育の実践」が評価されていることがわかります。学習にと

どまらない人間教育を掲げる星稜に、社会人としての基盤の形成が期待されているという結果です。一方高校では、「進路指導・就職指導」が続きます。本校志願理由では「進学実績の高さ」が高くなっており、やはり保護者の方々が期待されているのは、進学校として大学受験で成果を出すことであると示されています。中学・高校という生徒の発達段階の違いにあわせて保護者が期待するポイントも変化していますが、その期待により高いレベルで応えていくために重要となるのは、生徒ひとりひとりと担任をはじめ教員との緊密なコミュニケーションではないかと考えています。現在このアンケート結果を受けて、中学・高校ともに個人面談の頻度を増やすことを検討しており、「生活指導」および「進路指導」の基盤となる生徒と教員とのつながりをさらに充実したいと考えています。

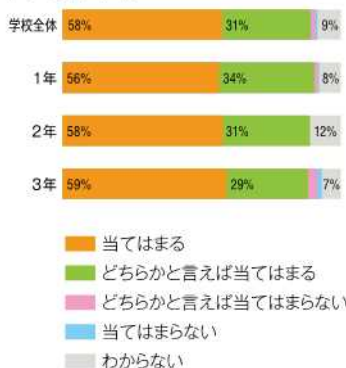
ここで紹介できるのはごく一部ですが、保護者の皆様にご協力いただいているアンケートの結果は毎回、星稜中学・高校がさらに伸ばすべき点、改善すべき点についての示唆に富んでいます。またこの取り組みも今回で3回目となり、入学から卒業までの経年変化も読み取ることができるようになりました。私がいちばん重要だと考えているのは、生徒にも保護者の方々にも「星稜でよかった」と満足して卒業してもらいたいことです。そのために今後も保護者アンケートの結果を基にした教育施策を実践し、年々高くなっていく保護者の方々の期待にも常に応え続ける学校でありたいと考えています。

星稜中学校・高等学校 保護者アンケート結果（一部）

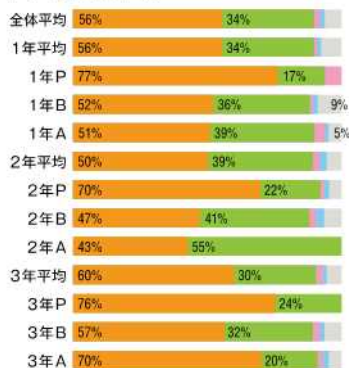
【総合的な満足度】

この学校に入学させてよかったと思う。

■星稜中学校



■星稜高等学校



【学校に期待するポイント】

今後学校に求めるものはどれですか。3つまで選んでご回答ください。

■星稜中学校

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
学校全体	38%	21%	12%	8%	8%	8%	5%
1年	38%	21%	13%	7%	9%	9%	4%
2年	39%	21%	12%	8%	9%	7%	4%
3年	39%	19%	11%	9%	8%	8%	7%

①学習指導・学力向上 ②課外活動
③学校行事 ④地域連携・地域貢献
⑤情報発信・学校公開 ⑥施設拡充・安全・衛生
⑦その他

■星稜高等学校

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
全体平均	33	33	8	6	4	7	6	2
1年平均	33	34	9	6	4	7	6	1
1年P	28	32	18	5	6	4	5	2
1年B	34	34	8	6	3	8	6	1
1年A	36	34	5	6	4	8	6	1
2年平均	33	34	7	6	5	7	6	2
2年P	27	36	12	4	8	4	5	4
2年B	33	34	7	6	5	7	6	2
2年A	39	34	5	5	3	7	5	1
3年平均	33	31	7	7	5	8	7	2
3年P	29	30	11	7	7	7	7	1
3年B	60	57	12	13	9	15	7	2
3年A	35	33	5	8	2	6	11	0

①学習指導・学力向上 ②進路指導・就職支援
③課外活動 ④学校行事
⑤地域連携・地域貢献 ⑥情報発信・学校公開
⑦施設拡充・安全・衛生 ⑧その他

保護者アンケートの全集計結果は学校ホームページでもご覧になれます。

<http://www.seiryo-hs.jp/>



星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園 ともに育ち、ともに育てる 「共育」を実践しています



星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園では、保護者の方々に園の行事に企画立案から参加していただいたり、園外へ出かける際の引率補助や絵本の読み聞かせをお願いしたりなど、保護者の教育参画の機会を数多く作っています。その根底にある考え方について、両園の大宮弘一園長はこう語ります。

「私たちの教育のモットーは『共育』です。本来は、一方的に園児を教育するのではなく私たち教諭も子どもたちと一緒に成長していこうという意味で使っていますが、保護者と先生の関係が良好でなければ、私たちが目指す教育は実現されません。重要なのは、子どもを中心にした、保護者と園のトライアングルです。そこで、保護者の方々にも園の教育に参画していただいて、子どもたちをみんなの目で見ることができ環境を作っているんです」。

1月14日(金)に行われた、金沢21世紀美術館の見学でも星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園の園児たちを保護者の皆様が教員とともに引率されました。この日引率補助として参加した大塚直美さんは、「このような機会にはよく参加していますが、家では見ることができない部分や成長を垣間見られるのがよいと思います。星稜は、家庭と幼稚園の距離がすごく近いという印象。とてもいいスタイルだと思っています」と話してくださいました。

また、同月24日(月)に星稜幼稚園で行われた保育参加で園児たちに絵本の読み聞かせをした青木千春さんは「とても緊張しましたが、子どもたちが真剣に聞いてくれて、楽しんでもくれたようなのでよかったです。今回は絵本でしたが、今後いろいろとバラエティが広がって、他の保護者の方々も子どもたちとの接点が多く持てるよ



星稜幼稚園 在園児保護者
青木千春さん



星稜泉野幼稚園 在園児保護者
大塚直美さん

うになったらいいと思います」と語っていただきました。

「子どもにとっては自由でのびのびとした環境であり、保護者にとっては開かれた幼稚園であることが大切です。園と保護者の関係ももちろんですが、保護者同士が幼稚園を軸として関わりを深めていくことも子どもたちの成長にプラスになるはずです。これからは保護者の方々からのご意見は広く集め、また実際にご参加いただきながら、その協力を星稜が目指す幼児教育に還元していきたいと思っています」(大宮園長)

4月1日(金)から「金沢星稜大学附属星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園」と名称変更し、大学や地域、そして保護者、さまざまな立場の方々と連携を深め、教育環境の充実を目指していくふたつの幼稚園。保護者の皆様にも、これまで以上に積極的な教育参画を期待しています。

企業の現場で 活かされる 「会計」を身に つけてほしい

星稜女子短期大学 准教授 谷畠範恭



学問としての「会計」と 実務としての「会計」

星稜女子短期大学で財務会計分野の各科目を担当しています。本学は、企業の即戦力となりうる女性の育成を教育の根幹に置いている「経営実務科」の単科大学です。この「実務」を重要視している点に、本学の教育の最大の特徴があると言えます。

教員になる前、私は会計事務所勤務しながら大学院で会計学の研究をしていました。そこで「学問」と「実務」の間に隔たり、大きなとまどいを覚えたんです。大学での会計学・簿記論の講義や検定簿記の内容と、実務で行われている簿記・会計には乖離している部分があり、実務のための教育を掲げる本学には、両者の間を埋めるこ



とが求められています。

その課題に対する解答のひとつが、「会計学」と「PCC会計演習」です。会計人に求められる知識を広く学習する「会計学」と、企業の現場で必要とされるコンピュータを用いた会計スキルを修得する「PCC会計演習」のふたつの講義を設定することで、学生たちが大学から企業への移行をスムーズに行えるよう配慮しています。それぞれの講義を私が担当していますが、「会計学」では大学院での研究を、「PCC会計演習」では会計事務所での実務をベースとして講義を行っています。

拡大する「会計人」の領域を カバーする本学の実務教育

実践的な会計スキルを語る上で、もうひとつ重要なポイントがあります。それは、会計に対する社会の認識が変化してきたという点です。

近年、一般向けのわかりやすい「会計本」が相次いで出版され、多くがベストセラーとなっています。そしてここには、従来の主に帳簿の読み書きを指す会計だけではなく、経営やマーケティング、マネジメントの要素が多く含まれています。

どんな業種・企業であっても、「モノを作れば売れる」時代はすでに終わりました。今は、そしておそらくこれから「モノを売り込む」方法を考える時代です。「どれだけ儲けたか」の計算は当然として、さらに「どうすれば儲けら

れるのか」を考える能力を身につけ、よりコンサルタントに近い役割を果たせる会計人が求められているのです。

本学には、会計スキルを身につけて社会で活躍したいと考えている学生がたくさんいます。彼女たちにもよく伝えることですが、本学では経営学もマーケティングもマネジメントも科目として設定されており、現代の会計人に必要とされるものの多くを学ぶ機会が用意されています。資格取得や検定合格も重要には違いないですが、社会への準備段階である今こそ視野を広く持つて、真に企業から求められる人材へと成長してほしいと願っています。

【A社・B社】ではなく、学生が身近に感じられる
実在の企業を題材にした授業を心がけています。





★ おもてなし娘による ひがし茶屋街 観光案内を実施!

電子書籍「eS」を利用しての外国人観光客向け観光案内「おもてなし娘」の活動がひがし茶屋街で行われました。この事業は、社団法人石川県情報システム工業会主催の「おもてなしネット事業」に金沢星稜大学が協力して行ったものです。1月22日(土)～3月27日(日)までの毎週土・日曜日に女子学生12名が「おもてなし娘」として交代で茶屋街に待機し、和装姿で観光客にひがし茶屋街の魅力や金沢の文化を伝えました。



★ 人間科学部2・3年次 フィールド成果報告会!

12月4日(土)、各講義室において人間科学部3年次対象の「スポーツフィールド実習」と「こどもフィールド演習」の成果報告会が行われました。ゼミ毎に発表し、中には御所町秋祭りの獅子舞を演舞したり、スポーツ報道の現状を目的にしたりした経験を活かして制作した「星大スポーツタイムズ特別号」を披露したりと、それぞれに特色が見られました。



★ 幼大連携事業 「Tシャツパフォーマンス (背中では語る)」実施!

12月9日(木)、星稜幼稚園と星稜泉野幼稚園でワークショップ「Tシャツパフォーマンス(背中では語る)」が行われました。このイベントは、人間科学部こども学科の学生たちが中心となって企画運営した幼大連携イベントとして行われました。アーティストの村田峰紀氏をお招きし、年長児・学生・教職員が自身のTシャツの背中にクレヨンで様々な模様を描くという非日常的な体験をしました。



★ 経済学部 卒業研究発表会!

12月18日(土)、各講義室において経済学部4年次が専門ゼミで学んだ2年間の研究成果を発表する「卒業研究発表会」に参加しました。4年次の皆さんは、いつもとは違う会場の雰囲気、緊張感でしたが、4年間の集大成とも言える研究報告を堂々と発表していました。今後、教員や会場からの質問やアドバイスを参考に、卒業論文を完成させます。完成した卒業論文は本学の図書館に置かれ、いつでも閲覧できるようになります。



★ スキー部古川さん、 快挙!!

2月5日(土)・6日(日)、志賀高原熊の湯スキー場で行われた「第25回全日本学生スキー技術選手権大会(※)」個人部の部で、スキー部の古川貴広さん(経済学部2年次)が初出場で初優勝を果たしました。



※①急斜面小回り(整)②急斜面小回り(不)③斜面大回り④フリー滑降の4種目の総合得点で競われました。

★ 留学生スピーチ コンテスト開催!

1月21日(金)、今回で8回目となる留学生スピーチコンテストが開催されました。学生たちは、自分自身が感じた日本の文化や伝統、また人の優しさに触れたときなど実際の経験談を心をこめて話しました。スピーチを聞いた教職員からは思わず目頭が熱くなったという声も聞きました。また、これに参加した留学生3名が、2月4日(金)に金沢市立北鳴中学校で行われた「立志のつどい」で、中学2年生174名に対し、講演しました。



第8回金沢星稜大学
留学生スピーチコンテスト

★ 星陵女子短期大学生の 今を伝える「SALUT+」 (サリュプラス)がブレオプン!

短大生のアクティビティを紹介するSALUT+ガールズブログがブレオプンしました。星陵女子短期大学のホームページからアクセスできますので是非、ご覧ください。
<http://www.seiryo.ac.jp/salut>



★ マナーコンテスト Ver.0 開催!

2月10日(木)、初めての取り組みである「星短マナーコンテストVer.0」が開催されました。授業で学んだビジネスマナーを楽しくながら確かめる機会として、学生スタッフも参加して企画されたもので、1年生12名が参加しました。学生たちは、一人一人異なる設定でお客様と受付役に扮してロールプレイに挑戦し、緊張しながらも心のこもった対応を行いました。コンテストには大畠重衛学長や谷畠範

恭准教授も上司役で出演し、コンテストを盛り上げました。さらに、取材に訪れた地元テレビ局アナウンサーの参加もあり、学生たちは楽しみながらビジネスマナーを確認しました。また、当日のロールプレイの内容は秘書検定1級に合格した松村茉莉さん(2年生)が考えました。



★ スキー& スノーボード研修

平成22年度スキー研修を1月6日(木)～8日(土)の2泊3日の日程で、長野県の梅池高原スキー場にて実施し、1・2年生あわせて22名の学生が参加しました。

1日目の午後に梅池スキー学校のインストラクターによるスノーボード講習をレベル別に受講しました。2日目と3日目は、快晴と新雪による絶好のコンディションで各自講習で学んだことを実践練習しました。

★ アイルランドへ 海外研修

2月11日(金)～19日(土)にかけて、アイルランドへの海外研修を行いました。アイルランドは、山がほとんどなく、羊や牛などが飼育されている牧草地のある自然と古くから残る教会やジョイスなどの文豪たちが残した史跡のある街並があります。そのため、国全体が「エコウォーク」の行いやすい観光補助のシステムが確立していることを学生たちは学びました。また、



自分たちが計画した小旅行やアイリッシュダンスの体験、現地学生との交流会では、これまでに学んだ英語を駆使し、相手の言うことを理解することにも挑戦しながらも、コミュニケーション



ケーションを取っていました。

最後に、現地学生の手助けで本学の学生たちが多くのことを学べたと感謝を伝えると「Love help.」と言われ、あらためてホスピタリティの在り方を学ぶ機会となりました。

★ 国内旅行管理者試験・ 秘書検定1級合格!

9月12日(日)、平成22年度国内旅行業務取扱管理者試験が行われ、本学からは5名が受験し、3名が合格しました。また、11月から12月にかけて行われた秘書検定1級試験に、金融・会計コース2年生の松村茉莉さんが合格しました。国内旅行業務取扱管理者試験の全国合格率は32.8%、秘書検定1級の全国合格率は22.3%であり、どちらも難関ですが、講義で配布されるオリジナルのプリントを使った指導や学生のあきらめない姿勢が合格に結び付ききました。



秘書検定1級に合格した松村茉莉さん



★短 フィールドワークで 金沢を学ぶ！

12月24日(金)、観光マネジメントコースの専門科目「フィールドワーク」(担当:江口雅之講師が、「料亭文化を学ぶ」と題して行われ、金沢市東山の老舗料亭「山乃尾」を訪問し、主人の本谷達弥氏が心掛けているおもてなしについて講演いただきました。また、1月21日(金)には、「日本酒の醸造について学ぶ」と題し、金沢市石引の造り酒屋「福光屋」において、福光屋の歴史や日本酒醸造についてお話いただき、酒蔵を見学しました。



★高 修学旅行

1年生は、11月30日(火)～12月3日(金)の3泊4日の日程で、修学旅行に行きました。各コースの主な行き先は次のとおりです。

Aコース(東京 横浜方面)…クラス別企業研修(バナソニック、ユニセフハウス、有明清掃工場、ANA整備工場、JAL整備工場)、東京大学訪問、東京



都内班別大学見学、東京ディズニーシー、鎌倉大仏、鶴岡八幡宮
Bコース(北九州)…阿蘇山、阿蘇猿まわし劇場、ハウステンボス、長崎原爆資料館、長崎市班別自主プラン、太宰府天満宮
Pコース(沖縄)…美ら海水族館、瀬底島ビーチ(シュノーケリング)、名護バイナッブルパーク、道の駅かでな、平和公園、ひめゆりの塔記念館、首里城、那覇国際通り班別自主プラン



★高 冬季体育大会

12月14日(火)・15日(水)、1・2年生の冬季体育大会が行われました。ドッジボール、バスケットボール、男女混合ソフトバレーボール、サッカー、卓球、テニス、バドミントン、駅伝、柔道、剣道、ダンス発表の各競技で熱戦が繰り広げられました。



★高 全国高校サッカー大会 12年連続出場！

第89回全国高校サッカー選手権大会が、12月30日(木)から開催されました。12月31日(金)に行われた1回戦では強豪徳島商業高校と対戦し、2対0で勝利しました。1月2日(日)に行われた2回戦では、駒澤大学高等学校と対戦し、0対0のままPK戦で、2対4で惜敗しました。

★高 センター入試激励会

1月13日(木)、大学入試センター試験を前にして、3年生を対象に激励会を開催しました。干場久男校長より、試験終了のチャイムが鳴るまで、最後まであきらめずに取り組む姿勢が必要であるとの挨拶がありました。また、会場に行くまでに何が起こるかわからないため、いつもより早めに行動するように注意があり、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。



★ 高 講演会

2月5日(土)、1・2年生を対象として、ネクステージ代表取締役の齊藤直人氏をお招きし、「夢を実現するために」と題した講演会を行いました。齊藤氏は、夢を持って生きていくことは大事で、その夢をかなえるために、あきらめないで、向っていくことが大事と話されました。生徒たちは、自分の夢を考えて生きていくことについて希望が持てた様子でした。



★ 中 俳句大会で表彰

第38回千代女青少年少女俳句大会で、森本真央さん(3年)が特選、下村恵里佳さん(3年)が佳作に選ばれました。
【特選】 耀さばき 叱られてる 夏の川
【佳作】 練習後 選手に渡す 水かな

★ 中 講演会

12月14日(火)、金沢信用金庫の野田咲代氏をお招きして「将来とお金」と題して講演会を行いました。会場には、模造札の1億円の札束が用意され、その量の多さに驚いている生徒もいました。



★ 中 かるた大会

12月15日(水)、数人のグループにわかれて、対戦するかるた大会が行われました。生徒たちは、1枚でも多くの札を取ろうと、必死に取り組んでいました。



★ 中高 クラブ成績

星稜高等学校

□第61回全国高等学校駅伝競走選手権大会
石川県予選会

- ・第2位
- ・区間賞 第1区10 km
高松 峻平

□第22回全国高等学校

女子駅伝競走選手権大会 石川県予選会

- ・区間賞 第2区4・097.5 km
廣瀬 亜美
- ・区間賞 第3区3・0 km
橋爪 悠希
- ・区間賞 第4区3・0 km
吉田 佳代

□第90回河北潟一周駅伝競走大会

- ・高校の部
- ・第1位 星稜高等学校 A

□第73回石川県耐寒継走選手権大会

- ・団体 第2部 A組
- ・第2位 星稜高等学校 A
- ・団体 第3部 A組
- ・第1位
- ・区間 第3区3・3 km 第2部A組
- ・第1位 西尾 博行
- ・区間 第1区3・3 km 第3部A組
- ・第1位 牧川 恵莉
- ・区間 第2区3・3 km 第3部A組
- ・第1位 廣瀬 亜美
- ・区間 第3区3・3 km 第3部A組
- ・第1位 橋爪 悠希
- ・区間 第4区3・3 km 第3部A組
- ・第1位 吉田 佳代

□第89回全国高等学校

- サッカー選手権大会 石川県大会
- ・優勝

□金沢市空手道選手権大会

- ・高校生男子組手試合
- ・優勝 本 真大朗
- ・準優勝 本 圭佑

□平成22年度金沢地区

- 高等学校テニスダブルス大会
- ・男子ダブルス
- ・準優勝 佐々木 宏彬、宮村 陸

□石川県高校テニス

ダブルス選手権大会

- ・女子
- ・第1位 井波 奈津美、上野 梨夏

□平成22年度石川県高等学校

- 新人体育大会 剣道競技
- ・女子個人
- ・優勝 森田 結衣
- ・女子団体
- ・優勝

□第19回松本旗争奪

- 石川県高等学校剣道選抜大会
- ・女子
- ・優勝

□平成23年度北信越高等学校

- 体育大会 剣道競技
- ・女子団体
- ・第1位

□平成22年度石川県高等学校

- 冬季錬成大会 弓道競技
- ・男子団体
- ・準優勝

□第17回石川県高等学校

- 空手冬季錬成大会
- ・男子団体組手
- ・第1位

□第60回全国高等学校スキー大会

- ・女子回転
- ・第3位 石川 千尋

□全日本ジュニアスキー選手権大会

- ・スーパージニア
- ・第6位 小清水 亮



□第38回石川県高等学校スキー新人大会

- ・女子アルペン総合
- ・優勝
- ・女子回転
- ・優勝 林 真紀
- ・第2位 杉俣 葵
- ・女子大回転
- ・第2位 林 真紀
- ・男子アルペン総合
- ・第2位
- ・男子回転
- ・第2位 岩本 稜

□石川県高等学校体育連盟表彰

- ・総合最優秀校
- ・男子最優秀校
- ・女子最優秀校

□第18回石川県高等学校

- かるた選手権大会
- ・1部
- ・準優勝 荒木 奈々

□第60回高松宮記念杯

- 近江神宮かるた大会
- ・C級2段
- ・第3位 荒木 奈々

星稜中学校

□石川県中学校体育大会

- 第28回県中学校駅伝大会
- ・男子4区 30 km
- ・第3位 吉野 駆流
- ・女子1区 30 km
- ・第1位 五島 莉乃



☆わくわくの雪あそび☆

今年になって初めての雪あそび。みんなでわくわくしながら外にでました。ふかふかの雪の上を歩くだけじゃもったいない！「それっ」と雪の上に寝転んでみました。晴れた空がとってもまぶしくて気持ちよかったです。



☆金沢21世紀美術館へ☆

楽しみにしていた金沢21世紀美術館見学。いくつかのグループに分かれ保育参加のお母さんたちと一緒に見学しました。「次はどこに行こうかな？」とグループごとに相談しながら行動し、不思議なブルーと透明のエレベーターなど魅力いっぱいの館内を楽しみました。

小中学校の作品展では何度も立ち止まって見入ったり「どうやって作ったのかな？」と覗き込んだり、と興味津々でした。明るく広々とした空間、そしてすばらしい作品から体中に刺激を受けて、とても貴重な経験になったようです。みんな楽しく開放的な時間を過ごすためにルールやマナーを守ったのは、さすが！年長さんです！！



☆元気いっぱい豆まき会☆

2月3日(木)は「節分」。この日はプレイルームに全園児が集まり豆まき会をしました。

「鬼は〜そと」「福は〜うち」と元気な声が広がりました。当日までに各自が作った鬼のお面や豆入れを身につけ登場、会場がカラフルなちびっこ鬼でいっぱいになりました。子どもたちと大きな鬼(先生)と交代で豆まきをしたのですが、相手(鬼)が先生と分かっているにもかかわらず泣きそうなお顔で逃げまどう年少児！驚いた拍子に大鬼に反撃をした年長児もいたようです。豆まき会の後、豆とお昼にのり巻き(ハーフ)をいただきました。みんな、無言で食べられたかな？



☆懐かしい顔がいっぱいの同窓会☆

友だちや先生と久しぶりの再会。クラス対抗のゲームやミニ茶話会で楽しいひと時をすごしました。自分が大きくなったぶん「星後幼稚園が小さく見える」と言っていた子もいましたが「おみくじゲームで」つさぎさんになってネ」の声かけに、全員が一生懸命両手をあげてピョンピョン!!とジャンプ。



☆雪あそびだいすき!!☆

園庭にたっぷり雪。雪遊び用の服に着替え「わあ〜っ」と雪の中へかけ出していく子どもたち。かまくらの中に入ったり、築山からそりで滑ったり、雪だるまを作ったり、寒さなんかへっちゃらで笑顔いっぱい楽しんでいました。今年は大雪になりましたが、子どもたちにとっては何よりステキな空からの贈り物になりました。



☆おにはそと〜ふくはうち〜☆

今日は節分です。みんなで豆をまいて自分の中にいる鬼を追い出しました。おなかの中から出てきたおこりんぼ、泣き虫、めんどくさがり…の鬼も「もう悪いことはしないよ」と謝ってみんなと一っしょに「おにはうちでひきつけた〜」のダンスを楽しみました。お昼にはホットプレートを使ったいたてあつあつの「お豆やさ



ん「がオープン!! 恵方巻きと共に「おいしいね〜」と何回もおかわりをして喜んでいました。

☆卒園記念に共同制作!☆

年長児が園長先生といっしょに卒園制作に取り組んでいます。秋にでかけた近江町市場のお買物がモチーフです!! 「大根買ったよね〜」「おじさんおもしろかったよね〜」など、思い出しながら出来上がるのを楽しみにしている年長児です。



☆からだをうごかすのはたのしいね☆

年中児が、カワイイ体育教室の柚先生の指導のもとではじめてのとらいうランドに参加しました。走ったり、ジャンプしたり、なわとびを使ったり：マットや平均台も登場!! 「体を動かすのは楽しいね〜」これからもうとらいうランドの名前のように何にでもTRY!していく気持ちを持とうね。



『親業』支援コラム

オトミのカタ

新しい環境(進学・就職)への 対応について

金沢星稜大学 人間科学部教授 高 賢一

皆さんがよくご存知の「五月病」は、大学の新入学生や企業の新入社員、転勤や部署の異動などに起こる環境変化への不適応現象であり、多くの場合は一過性の症状と考えられています。五月だけでなく、六月、七月と続いていくケースもあります。中には、アパシー症候群や適応障害などという診断名がつくことがあります。身体の免疫機能が低下して病気になるかきやすくなったり、ストレスをためすぎて心筋梗塞や感染症、あるいはうつ病などの精神疾患に移行するケースもあります。

しかし、五月病を否定的にとらえないことも大切です。五月病の症状が出てきたということは、立ち止まって自分を見直す良いチャンスとみることもできるからです。受験や就職にエネルギーを使い果たして目標を失ったり、あるいは失望したり、ガス欠になっている学生や新社会人にとって、五月病になることは、疲れを癒し充電の必要性を示す的確なサインといえます。今まで棚上げにしてきた自分自身のテーマ、たとえば性格や対人関係などと向き合い、仕切り直す絶好の機会と考えると、気持ちが楽になります。

五月病にかかりやすいタイプとしては、まじめに物事を考える優等生タイプ、几帳面で完璧主義の人、内向的で孤立しやすい人、勤勉で周囲に気をつかい過ぎる人、過保護に育てられた人などがあげられます。五月病になる原因としては、緊張からの解放と失望、新たな環境に

対する不適応、大きな目標を達成した後に襲ってくる虚無感、新たな生きがいが見つからないことによる虚無感などがあげられます。それでは、新しい環境に適応していくためにはどうしたらいいのかについて考えてみたいと思います。

1 点目は、「しななければならない」などの完璧主義をやめることです。自分がイメージしていることの7〜8割ぐらいできれば上出来などと楽に考えることです。2 点目は、「あせらないこと」です。あせっている時に行動しても、空回りして心身共に疲れて終わることが多い

のも事実です。周りの流れに身を任せてみると、そのうち自分が向かいたい方向が見えてくるかもしれません。3 点目は、「一人で悩まないこと」です。気分が落ち込んでいる時に、一人で考えていてもあまり良い解決法は浮かびません。両親や親友など、誰かに話すことで気分も楽になるし、意外と自分と同じように悩んでいる仲間がいることに気づくことがあります。その他の方法としては、少しペースを落としてみる、意識して休養をとるようにする、症状の程度が重い場合は、思い切って専門医療機関などに行ってみることも必要です。

金沢星稜大学 学生相談室では カウンセラーによる面談を 実施しています。

金沢星稜大学学生相談室では、高室長と新谷(女性)カウンセラーが面談を行っています。学生はもちろんのこと、保護者やご家族の方でも面談の予約が可能です。学生生活や人間関係の不安など、お気軽にご相談ください。



金沢星稜大学 学生相談室

学生相談室カウンセリング(金沢星稜大学)

予約受付: 076-253-3871 (学生相談室)

※スタッフが不在の場合は、大学事務局学生支援課へ

開室時間: 午前9時〜午後6時

(土曜・日曜・祝日を除く)

また、星稜高等学校では専任カウンセラーが常駐、星稜女子短期大学では非常勤カウンセラーが週2回(火・金、どちらも午後のみ)待機していますので、お気軽にご相談ください。カウンセリングについては各校事務局へお問い合わせください。



金沢星稜大学 総合研究所 だより



【金沢星稜大学総合研究所主催】 公開講演会・パネルディスカッション

2011年2月11日(金・建国記念の日)
午後1時～5時30分
金沢星稜大学稲置記念館2階・キャリア考房にて

「教育の情報化」が進展する中で、
北欧や韓国の教育現場では我が国以
上にICT機器・教材が導入され、学
力向上に寄与しているという報道が
なされています。特に近年はICT
機器のシンボルとして電子黒板や教
科書の電子教材化が注目を浴びてい
ます。従来はペーパーベースであつ
た教科書を電子化(視覚化)すること
で、学習者の集中力が高まり、結果と
して知識・技能の定着が促進された
という研究成果が数多く発表されて
います。また、学習者同士が情報にア
クセスすることで、これまでの一方
的な情報伝達型の学習から、学習者
相互が学び合う協働型の学習を取り
入れることで、これまで以上に「活用
力」や「探究力」の育成につながる
という主張もなされています。

とともに、これらの情報手段に加
え視聴覚教材や教育機器などの教
材・教具の適切な活用を図ること」
とされています。このことから、I
CT機器や教材を効果的に利活用す
ることで学力向上をめざしていると
いえます。

そこで本研究では、「デジタル
教科書と協働教育」をメインテーマ
に、「教室環境の創造と展望」をサブ
テーマに掲げ、公開講演会とパネル
ディスカッションを企画しました。
祭日にもかかわらず約40名を超える
研究者・現職教員・学生の参加があ
りました。

平成23年度より小学校から逐次完
全実施される新学習指導要領の総則
を見ると、各教科等の指導に当たっ
ては、児童がコンピュータや情報通
信ネットワークなどの情報手段に慣
れ親しみ、コンピュータで文字を入
力するなどの基本的な操作や情報モ
ラルを身に付け、適切に活用できる
ようにするための学習活動を充実す



光村図書出版株式会社 黒川弘一氏

我が国で最初に教科書の電子教材
化に取り組んだ光村図書出版株式会
社の黒川弘一氏(常務取締役企画開
発本部長)が「デジタル教科書の現
在・未来」と題して基調講演を行い
ました。黒川氏は現行のデジタル教科
書教材を「パラダイム転換期の教育
ツール」と位置づけ、「学年や教科の
枠を超えた活用」「話し合い活動の活
性化」等を通して、自由度の高い授業
のサポートができることを海外の事
例もまじえて力説されました。



金沢市立小坂小学校 小林祐紀教諭

また、参加者が一緒になって、金沢
市内の全ての小学校に導入されてい
る国語科の電子教材を活用するワー
クショップを体験しました。金沢市
立小坂小学校の小林祐紀教諭による
模擬授業(国語科・4年教材「アップ
とルーズで伝える」を使用)によって
イメージの共有化が図られ、清水和
久准教授(金沢星稜大学)の司会・進
行のもと、有用性や有効性について
熱い討論が行われました。

さらに、日本教育メディア学会か
ら招聘した研究者を中心に、パネル
ディスカッションを行いました。サブ
テーマである「教室環境の創造と展
望」に対して、黒田 卓氏(富山大学)
が指定討論者として、以下の視点を
設定し問題の焦点化を図りました。

水越敏行氏(大阪大学名誉教授)
は「国際状況の視点から」、フィンラ
ンドと韓国のICT活用の現状を
報告し、決して我が国の利活用が
劣っているわけではないこと。中川
一史氏(放送大学)は「国内状況の視
点から」、学習環境は確かに多様化
しているが、それらを生かすには教
師のスキルアップが必要であるこ
と。村井万寿夫教授(金沢星稜大学)

は「フューチャースクールの視点」全
児童が一人一台のコンピュータを持
つことによる学習効果の実験校か
ら、学習状況に応じた多様なICT
活用について、実証研究を推進する
必要があることが強調されました。

総合研究所長 岡部昌樹



左から、小林教諭、金沢星稜大学 村井万寿夫教授、放送大学 中川一史氏、
大阪大学名誉教授 水越敏行氏、富山大学 黒田卓氏

金沢星稜大学附属星稜幼稚園・附属星稜泉野幼稚園として新たにスタートします。

平成23年4月1日より、星稜幼稚園、星稜泉野幼稚園は、金沢星稜大学附属星稜幼稚園・附属星稜泉野幼稚園として新たにスタートします。金沢星稜大学との連携をより深めることで、双方のメリットを活かしながら幼児教育及び研究・実習等のさらなる充実と発展を目指します。

「東北地方太平洋沖地震」への義援金募集について

3月11日(金)に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、地震と大津波により大きな災害をもたらしています。被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

学校法人稲置学園では、この地震等で被災された方々と地域を支援するため義援金を募ることといたしました。

皆様方からの温かいご支援ご協力をお願いいたします。

【義援金募集期間(第一次)】平成23年3月14日(月)～平成23年4月28日(木)

【義援金届出窓口】

金沢星稜大学事務局(TEL:076-253-3924)

星稜泉野幼稚園事務局(TEL:076-244-5636)

星稜女子短期大学事務局(TEL:076-253-5900)

総務部総務課(TEL:076-253-3908)

星稜中学・高等学校事務局(TEL:076-252-2237)

株式会社星稜プラザ(TEL:076-253-3990)

星稜幼稚園事務局(TEL:076-252-5057)

※物品の寄付は受け付けておりません ※金沢星稜大学の学生赤十字奉仕団も活動しております

【義援金届け先】公的機関等を通じて被災地に届けます

【お問い合わせ先】総務部総務課長 春本 裕雄(TEL:076-253-3908 E-mail: hisyo@seiry.jp)

※皆様から集めた募金につきましては、募金終了後に皆様にご報告いたします。

学園創立80周年記念事業「寄付金募集」について

本学園は、平成24年(2012年)に創立80周年を迎えるにあたり、学園各設置校に在籍する学生・生徒・園児が満足な学園生活を送ることができるよう、更なる教育環境の整備・改善、就学援助の充実、課外活動の支援等に取り組んでいきたいと考えております。これらの取り組みのため、同窓生・保護者・教職員並びに有志の皆さまから広くご寄附を募ることとなり、2月より寄付金募集を開始いたしました。趣旨にご賛同いただいた多くの皆さまからのご厚意に心より感謝申し上げます。寄付金事業は平成24年9月まで実施いたします。このほかに記念史の編纂、記念行事の実施、記念館の建設を記念事業として実施する予定です。

皆様のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

学校法人稲置学園理事長 稲置 美弥子

学園創立80周年記念事業企画・実行委員長

学校法人稲置学園理事 稲置 慎也

寄附者ご芳名(五十音順・敬称略/2011.2.1～2.28受付分)

同窓会

明石 大祐
穴田 茂久
荒家 良樹
粟森 佐恵子
安藤 至
五十嵐 清人
池水 龍一
石黒 宏
伊関 久子
井谷 亜希子
岩崎 千尋
上野 由美子
内田 靖夫
小川 正順
小幡 建仁
小幡 嘉彦
笠間屋 邦男
梶 康則
柏 朝夫
金木 清隆
川坂 君江

川高 康則
河原 正明
北岸 富子
木村 啓治
倉元 三千代
黒田 希代子
桑田 竜一郎
小舟 章生
米久 厚生
小山 征時
坂下 雅英
櫻井 真人
笹木 勉
澤田 輝宏
澤田 広一
島多 敏之
清水 潔
清水 実
杉原 輝夫
関 清孝
千田 健二
園田 新午

高木 義弘
高橋 一喜
竹田 武志
田中 洋之
田守 克也
砺波 宏成
中田 邦雄
中村 清
中村 宏一
中山 猛
西田 真佐枝
西村 文子
根井 隆一
野崎 慎吾
福田 勝久
福光 邦朗
福光 義頭
藤野 悦子
千田 武雄
本間 将太
松井 勝治
松浦 勉

松下 嘉子
松田 浩和
松田 税
水野谷 満
三宅 有里
宮永 泉
向井 隆雄
村口 博
毛利 一男
本 節子
森田 はるか
山岸 省三
山崎 文恵
山下 和久
山田 祥一
山谷 恭子
吉岡 真

保護者会
和田 静恵
中田 太架志
池田 保雄

今川 修
沖野 徳郎
川崎 清次
北岡 外志雄
清水 誠
高瀬 剛
瀧本 義明
近 守宏
辻 朋之
東 朝子
東出 直樹
福田 太郎
藤森 幸一郎
堀 修一
堀 英章
牧 法良
松任 徹治
三上 忠博
道畑 宏二
山本 昭雄
若林 智
和田森 秀明

一般(個人・法人)

加藤 幸子
株式会社アスム建設 竹村 彰
永藁 俊也
株式会社 橋本確文堂
山本 幸俊

学園 役員・職員

池田 幸應
稲置 慎也
稲置 美弥子
稲原 泰平
上田 卓爾
内山 弘臣
岡部 昌樹
亀塚 智章

北川 節子
合田 昌英
沢田 勲
清水 実
高 佳奈
高 賢一
田中 洋之
辻 建一
辻屋 美貴子
寺井 弘実
寺井 嘉治
福田 真優
宮一 拓克
宮崎 正史
宮本 翔悟
村田 進

寄附者総数 136名(ほか32名)

寄附金総数 9,282,100円

稲置理事長が初代理事長生誕の地月ヶ瀬に「ゆめ」モニュメントを寄贈

稲置美弥子理事長が、3月8日（火）、稲置繁男初代理事長生誕の地、奈良県月ヶ瀬にある月ヶ瀬中学校で「ゆめ」モニュメントを寄贈しました。この「ゆめ」モニュメントは、将来を担う子どもたちや地域教育発展を「ゆめ」に託して寄贈したものです。モニュメントの制作には金沢星稜大学人間科学部こども学科の池上奨教授があたりました。

モニュメントの除幕式には、中室雄俊奈良市教育長をはじめ、田中喜隆月ヶ瀬地域振興協議会長、月ヶ瀬中学校全校生徒41名と教職員の皆さん、本学園からは稲置美弥子理事長、寺井嘉治常務、稲置慎也理事、稲置誠也金沢星稜大学事務局長らが出席しました。



「ゆめ」モニュメント



除幕式



除幕式参加の皆さん



記念碑の前にて



月ヶ瀬中学校卒業生から寄贈された

「夢」月ヶ瀬モニュメント制作にあたり



金沢星稜大学
人間科学部こども学科
池上 奨教授

今回「夢」というお題をいただき、頭に浮かびましたのが、「古都、奈良」と言えば「万葉の里」、そして「万葉仮名」。平仮名（ひらがな）は弘法大師が万葉仮名の草書体から作り、同時にその普及のために「いろは歌」も作ったとされています。

私は研究テーマの一つとして、ランドマークやアイストップとしての万人に分かりやすいオブジェの在り方を研究しておりますが、これにピッタリ、ハマりました。キーワードは「ゆめをうめ」です。

制作にあたり、私の出身大学（金沢美大）の後輩たちと一緒に約2カ月間、極寒の能登のスタジオで制作に励みました。今回のオブジェはかなり難しい形態で、技術やセンスが必要な仕事ではありましたが、彼らは良く私の要求に応えてくれました。私は彼らと制作することにより、我々日本人が持っている「美の遺伝子」、「日本人の物づくりアイデンティティ」が確実に継承されていると実感することが出来ました。「最近の若者は内向きで世界の競争社会に勝てないのではないか。」と言われていますがそんな事は無い。日本人がガラパゴス化する事により世界では類を見ない新たな技術革新を起こし世界をリードすることで、若者たちにも明るい未来が待っていると私は信じています。

今回、このようなモニュメントを造る機会をいただき、理事長、関係者の皆様、月ヶ瀬の皆様、堀造園の皆様本当に有難うございました。

先着 100名様に
図書カードをプレゼント!

サエラ20号に関するアンケートへのご協力をお願い

本号より、毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、先着 100名様に図書カード（500円分）をプレゼントいたします。右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

<http://www.seiry.jp/>

行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

3	29日(火)・30日(水)	新3年次学外研修(能登研修)
4	2日(土)	入学式
	4日(月)	新入生ガイダンス
	5日(火)・6日(水)	新入生学外研修(山中研修)
	7日(木)	前期授業開始
	7日(木)～14日(木)	履修登録期間
	9日(土)	新入生歓迎祭
	20日(水)・21日(木)	履修登録確認・修正期間
	20日(水)～22日(金)	テキスト販売期間
	26日(火)・27日(水)	履修登録削除期間(削除のみ)
5	2日(月)・6日(金)	休講日
	28日(土)	保護者懇談会(稲友会総会)
6	30日(木)	補講日

星稜女子短期大学

4	1日(金)	在学生オリエンテーション
	3日(日)	入学式
	4日(月)～6日(水)	新入生オリエンテーション
	7日(木)	前期授業開始
	7日(木)～13日(水)	履修登録期間
	9日(土)	保護者懇談会
	18日(月)・19日(火)	履修登録確認・修正期間 テキスト販売
5	2日(月)・6日(金)	休講日
6	25日(土)・26日(日)	北陸三県私立短期大学体育大会
	30日(木)	補講日

星稜高等学校

4	7日(木)	始業式
	8日(金)	入学式
	11日(月)	新入生研修会
	12日(火)～15日(金)	内科検診
	16日(土)	身体測定
	18日(月)	遠足
	30日(土)	薬物乱用防止講演会
5	16日(月)～19日(木)	中間試験
	19日(木)	県総体・総文激励会
	21日(土)	PTA総会
	27日(金)	避難訓練
6	7日(火)～9日(木)	歯科検診

星稜中学校

4	7日(木)	始業式
	8日(金)	入学式
	12日(火)	新入生研修会
	13日(水)	自転車通学説明会
	16日(土)	クラス写真撮影 身体測定
	28日(木)	交通安全教室
5	7日(土)	授業参観
	16日(月)・17日(火)	中間試験
6	2日(木)・3日(金)	写生大会

星稜幼稚園

4	6日(水)	始業式
	9日(土)	入園式
	28日(木)	保護者会総会
5	14日(土)	個人懇談会
	16日(月)	親子バス遠足
	23日(月)	親子バス遠足予備日
	25日(水)	オープンハウス
	27日(金)	オープンハウス
6	1日(水)	満3歳児入園
	6日(月)	プール開き
	15日(水)	アスレバル石川
	16日(木)	アスレバル石川予備日
	27日(月)	オープンハウス
	28日(火)	オープンハウス
	30日(木)	夢ステーション子育て教室

星稜泉野幼稚園

4	6日(水)	始業式
	9日(土)	入園式
	22日(金)	保護者会総会
	26日(火)	オープンハウス
5	17日(火)	親子バス遠足
	21日(土)・28日(土)	個人懇談会
	27日(金)	オープンハウス
6	1日(水)	満3歳児入園
	15日(水)	アスレバル石川
	16日(木)	アスレバル石川予備日
	30日(木)	オープンハウス

あとがき

高台にある星稜女子短期大学は、季節の移り変わりや美しさがよくわかります。周囲の山々、向こう岸の桜並木、手入れされた庭の花壇。陽光を感じるとともに学校も春を迎える準備に忙しい日々です。

この春、学び舎を後にした卒業生には、努力を惜まず、しなやかに美しく、また逞しく成長を続けてほしいです。新しい変化を恐れずに楽しんでください。星短には2年間だからこそ凝縮された大切な出会いや経験があります。女子だけで大きな行事を企画・運営できる力強さと、繊細さの調和があります。これから星短で学び育っていく学生たちが、多くの素敵な先輩たちに続くように私たちと一緒に頑張っていきます。

星稜女子短期大学 教務課 廿日岩曉子



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL 076-253-3924(代表)
http://www.seiryo-u.ac.jp

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町丑1
TEL 076-253-5900(代表)
http://www.seiryo.ac.jp

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL 076-252-2237(代表)
http://www.seiryo-hs.jp

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL 076-252-2237(代表)
http://www.seiryo-hs.jp

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
TEL 076-252-5057(代表)
http://kinder.seiryo.jp/seiryo/

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL 076-244-5636(代表)
http://kinder.seiryo.jp/izumino/